

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年6月24日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2773800970
法人名	社会福祉法人 ふくふく会
事業所名	グループホームみやび
所在地	羽曳野市西浦2丁目1844-1 (電話) 072-950-0382

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21年 6月 8日

【情報提供票より】(平成 21年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 8月 1日		
ユニット数	3ユニット	利用定員数計	27人
職員数	30人	常勤	22人, 非常勤 8人, 常勤換算 25.2人

(2) 建物概要

建物構造	コンクリート 造り		
	4階建ての	2階 ~	4階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	60,000円	その他の経費(月額)	40,000円	
敷金	有() 円 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>			
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="checkbox"/> (500,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
食材料費	朝食	250円	昼食	400円
	夕食	450円	おやつ	100円
	または1日当たり		1,200円	

(4) 利用者の概要 (平成 21年 4月 1日現在)

利用者人数	25名	男性	5名	女性	20名
要介護1	2名	要介護2	4名		
要介護3	8名	要介護4	9名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 86.1歳	最低	75歳	最高	98歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	城山病院、うりずん診療所、青山病院、いぬい歯科
---------	-------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

同法人理事長が地域貢献を目的に自らの土地を提供して社会福祉法人を立ち上げ、設立したグループホームです。デイサービスセンター、ケアプランセンター、ホームヘルパーステーションを併設しています。当ホームは緑豊かな田園地帯に位置し、近くに小川や学校があり環境に恵まれています。ホームは共有空間が広く、ホールには図書スペースを設けるなどの工夫をしています。広いベランダには草花が植えられ、周辺地域が一望できる景観の良い施設です。職員は『利用者の笑顔、スタッフの笑顔、地域の笑顔を大切にする』取り組みを進め、年間行事では一泊旅行や日帰り温泉旅行を実現するなど、利用者の希望を尊重した支援をしています。また、医療連携体制を整え終末期支援も行っています。研修を重視し職員の育成に力を入れてサービス向上に努めています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 管理者は前回の外部評価結果を職員に知らせ、職員と協力してこの1年間改善に取り組みました。前回の評価で改善が求められた課題は「災害対策」です。改善した内容は「災害対策用として、ホーム内に食料品、飲料水の備蓄を行った」ことです。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者はホーム全体会議等で外部評価調査についての説明をしています。自己評価票の作成についてはユニットリーダーが職員の意見を聞いてまとめています。また、外部評価結果については話し合いを行い、改善計画を作成して改善を行っています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 主な討議内容は、ホーム行事やボランティア活動等の報告、行事予定のお知らせ、事故防止の取り組み、職員の評価表や目標シートについて、職員の離職をなくす工夫、介護現場のストレス対策、介護報酬改定による加算算定状況について、防災対策等、多くの議題が討議され、出された意見はホームの運営に反映しています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族来訪時には利用者の暮らしぶりや健康状態を個別に報告しています。毎月「なごみ村」「しあわせ村」「ほのぼの村」のユニット毎にたよりを発行し、1か月毎のホーム活動報告と予定を掲載しています。また、体調等に変化がある場合には電話やファックスなどでお知らせしています。利用者の預かり金については個別金銭出納帳を作成し、毎月その内容に領収書を添付して家族へ送付、家族の了承を得ています。年に2回行われる家族会の意向を尊重しています。運営推進会議で出された家族の意見は大切に、ホーム運営に活かしています。ホーム内に意見箱を設置し意見を出やすくしています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域の神社のお祭り、夏祭りには地域から声を掛けてもらい利用者と一緒に参加しています。ホーム主催のバザー、夏祭り、2か月に1回開催している家族介護教室については自治会回覧で知らせてもらい、地域の方々に参加されホームとの交流の場になっています。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「安心・安全・安堵をモットーに私たちは常に向上心をもって心の通う運営を目指します」を基本理念として、利用者の笑顔、地域の笑顔、スタッフの笑顔の和を広めていくことを姿勢としています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は理念をホーム内に掲示し、またパンフレットにも記載して共有しています。管理者と職員は理念を基に「みやびの姿勢」や「行動指針」等を作成して、笑顔のある、利用者中心の、チームワークを大切にした支援に取り組んでいます。また、ユニット個別の理念を作成し、朝礼やミーティング等で確認しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域の神社のお祭り、夏祭りには地域から声を掛けてもらい利用者と一緒に参加しています。ホーム主催のバザー、夏祭り、2か月に1回開催する家族介護教室については自治会回覧で知らせていただき、地域の方々との交流の場になっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は全体会議等で外部評価受審についての説明をしています。自己評価票の作成についてはユニットリーダーが職員の意見を聞いてまとめています。また、評価結果については話し合いを行い、改善計画を作成して改善を行っています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等に付いて報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回、年6回の開催が定着しています。会議ではホーム行事・ボランティア活動等の報告、事故防止の取り組み、職員の評価表や目標シートについて、職員の離職をなくす工夫、介護現場のストレス対策、介護報酬改定による加算算定状況、防災対策等多くの議題が討議され、出された意見はホーム運営に反映しています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当者から運営推進会議に毎回複数名の参加があります。地域の方を対象としたホーム主催の家族介護教室の運営について担当者の協力を得たり、何かわからないことがあれば電話やEメール等で相談したりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の来訪時には、利用者の暮らしぶりや健康状態を個別に報告しています。毎月1回「なごみ村」「しあわせ村」「ほのぼの村」の各ユニットでたよりを発行して、1か月毎のホーム活動報告と予定を掲載しています。また、体調等に変化がある場合には電話やファックスなどでお知らせしています。利用者の預かり金については個別金銭出納帳を作成し、毎月その内容に領収書を添付して家族へ送付、家族の了承を得ています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に2回行われる家族会の意向を尊重しています。家族会には介護相談員にも出席を依頼しています。介護相談員が出席する時間に職員は退席し、家族と相談員の交流の場となっています。また、運営推進会議で出された家族の意見は大切に、ホーム運営に活かしています。ホーム内に意見箱を設置し意見を出やすくしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が定着するように働く環境を整える等の工夫をしながら、離職が起きない職場を目指しています。法人内異動は最小限にして利用者への影響が無いように配慮しています。職員の異動についてはホーム内に掲示して、利用者・家族等にお知らせしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	○J T推進委員会を設置し、職員の資質向上に努めています。外部研修・内部研修を合わせて年6回以上を実施し、研修内容では認知症の接遇や感染症対策に力を入れています。受講者は全体会議で伝達講習を行い、報告書をまとめて職員間で共有しています。今後は緊急時対応についての研修時に「応急手当の実技研修」を含むことを期待します。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市のグループホーム部会に参加し、積極的に学び交流をしています。部会では計画作成担当者の集いを月1回開催定例化しており、他市からの参加希望者も受け入れて学習、交流を深めています。また、事業者主体で全職員対象の交流会（事例検討を含む）を開催し、多くの参加が得られたことから継続開催が期待されています。大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、研修等に積極的に参加しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に見学や面談を行い、希望者には短期入居を経験してもらうなど、徐々に馴染めるように取り組んでいます。また、同法人運営のデイサービス利用者が入居される場合もあり、日頃の利用者との交流が馴染みの関係になっておりスムーズに移行されています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は料理・菜園作り・言葉遣いや物事の由来などを利用者に教えてもらうことがあります。また雑談の中で職員が慰められたり、いたわってもらったり、ゲームの勝利を共に喜んだり、誕生日を祝ったり、喜怒哀楽を共にしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の気持ちを大切にされた対応を心がけています。普段の会話の中で利用者一人ひとりの希望を聞き出し、書きとめて支援に活かしています。意思表示の困難な利用者には表情等で察知し、希望に添うように努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意見を反映するために事前に意向を確認しています。また、必要な場合には家族にカンファレンスに参加してもらう、医師や看護師の助言をもらう等して、計画作成に取り組んでいます。アセスメント、モニタリングを行い、その記録を残しています。介護計画書は利用者や家族へ説明して了承サインをもらっています。ケア会議録や介護計画書は回覧して職員間で共有しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書の見直しは3か月毎に行い、それ以外にも必要時には随時見直しを行うようにしています。定期的にモニタリングを行い、利用者の現状に即して計画を修正するなどの配慮をしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人運営のデイサービス施設のイベントや法人全体の行事に参加をしてもらうように支援をしています。また、公職選挙時の投票場への付き添い支援や医療機関への受診介助などを行っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者がそれぞれの希望する、かかりつけ医療機関で引き続き医療が受けられるように支援しています。また、専門医との連携も良く希望者は往診を受けることができます。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期の対応については入居契約時に重度化した場合の対応として「医療連携体制指針」を説明し同意を得ています。重度化した場合には本人・家族・主治医・スタッフを交え、方針を検討しています。ホームでは実際にターミナル支援を行ったことがあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者へ笑顔で接するように心がけています。また人権尊重についての研修を受講し、誇りやプライバシーを尊重した対応について学んでいます。職員採用時には個人情報の取り扱いに関しての契約書を作成し、職員の了承サイン・押印をもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意向を尊重した支援を心がけています。ホームの日課等の定めはありませんが、利用者が自発的に決められている日課は尊重し、継続できるように支援しています。ホーム行事やクラブ活動の参加についても希望を尊重しています。利用者のペースを尊重していますが、同時に希望が重なる場合は一時的に待っていただく場合もあります。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ユニット毎に食事作りをしています。新聞広告を見ながら利用者の意見を聞き、献立を作ります。利用者も参加して買い物に出かけ、食事作りは下ごしらえ、盛り付け、配膳など、利用者それぞれが得意なこと、できることに参加しています。職員も一緒に楽しみながら食事をしています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入浴ができるように準備していますが、積極的に入浴をされる利用者は少なく、職員が声かけして入られる場合が多い状況です。結果的に週2～3回程度の入浴状況になっています。その他、併設デイサービスの施設内で入浴したり、銭湯や日帰り温泉などへ出かけて楽しんだりしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	来客への湯茶接待、買物、食事作りや食後の片付け、掃除、洗濯物を干したりたたんだり、植木や草花の手入れ、手芸、書道、ゲーム、歌を歌う、ハーモニカを演奏するなど、利用者はそれぞれの役割と楽しみ事を持ち過ごされています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買物、外食、地域行事への参加、毎月のホーム行事での外出、銭湯や日帰り温泉の利用など、一人ひとりが外出の機会を持てるように取り組んでいます。外出を希望されない場合にもできるだけ外へ出られるよう声かけをしています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中はホーム玄関には鍵をかけていません。各階を移動するエレベーターは5秒間ボタンを押すと動くようになっています。エレベーターの横に、ボタンの押し方を記載した張り紙をし、利用者が自由にエレベーターを利用できるようにしています。一部エレベーターを自分で操作することができない利用者もおられますが、エレベーターを利用したい方には職員が対応しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、災害時に備えての避難訓練を行う方針があります。消防署は年に1回ホームへ出向き、避難経路や避難場所の確認と避難誘導等の指導を職員に行っています。ホームの避難訓練は消防署の指導とは別で行っているため、今後は消防署と一緒に防災避難訓練を行うことを検討しています。災害対策用として、ホーム内に食料品、飲料水の備蓄を行っています。避難訓練の様子を写真等で残しておく、次回の参考になるのではないのでしょうか。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は三食ともに把握し、水分摂取量は一日を通して把握し記録しています。栄養バランスや食材の調理法については、栄養士または併設デイサービス厨房の調理師に相談しています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い共有空間があり、食堂と居間、図書スペースなどゆったりとくつろげるスペースが設けられています。トイレや浴室、洗面所、ベランダ等は活用しやすいように工夫しています。季節感のあるタペストリーや手作りカレンダー、観葉植物などを置いて家庭的な雰囲気づくりに努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室入り口には小さな飾り棚があり手作りの作品や写真等が飾られ個性的です。室内からは田園風景が一望でき明るい開放感のある居室になっています。利用者はテレビ、飾り棚、ドレスハンガー、タンス、家族の写真(絵画)、自作の装飾品やぬいぐるみなど使い慣れたものや好みのもを置いて過ごされています。一部の居室にはトイレがあり、利用者が居室でくつろげるように工夫しています。		